



ごじょうめ



年賀状の配達にむかうアルバイト学生 (一日・五城目郵便局で)

(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

No.484

発行/五城目町役場 編集/文書広報課 TEL 0188 (52) 2100 (代) (毎月1日・15日発行) 印刷/湖東印刷所

年賀状と付き合い

元旦の朝、各家庭に年賀状が届けられます。

五城目郵便局の今年分の年賀状売り上げは、二十六万枚となっています。

そして、同郵便局が元旦に配達した年賀状は、十九万枚でした。

「年賀状は虚礼であり、廃止すべきである」という意見の人もいます。でも不思議なことに、不断、筆不精を自認している人でも、年賀状だけは書くようです。中には、はがきをだすのは一年に一度、年賀状だけという人もいます。

ですから、日ごろ音信のない友だちや知人などからも、たくさん届きます。このような「たより」は、うれしくもあり、なつかしい気持ちにさせてくれます。また、一年の間に家族の名前が増えたり、住所が変わっていたりするなど、一枚の年賀状から新たな発見をして、喜んだり、驚いたりします。

この年賀状、人との付き合いの広さを示すバロメーターのようなものです。

家庭で一番、年賀状が多い人は、それぞれの職業や社会的な立場にもありますが、父親というのが普通のようにです。そして、父親が会社の重役であったり、代議士であったりすればなおさらです。

また、子供たちは、年をとると共に年賀状の数が増えていきます。そして父親よりも多くなつたとき、子供は社会的な立場の面で、あるいは実際の面で、父親を追い越したといえるかもしれません。

12月定例会
町議会

57年度決算を認定

一般・特別会計とも黒字

十二月定例町議会は、十二月十四日から二十三日までの十日間の日程で開かれ、昭和五十八年度一般会計補正予算や、昭和五十七年度一般会計歳入歳出決算など十四議案を審議し、全議案を原案通り可決、認定、承認し会期を一日繰り上げて閉会しました。

また、三カ年継続事業で施行した役場庁舎建設事業と、二カ年継続事業で施行した恋地山荘（地域休養施設）建設事業の継続費精算報告を受けたほか陳情、請願五件を採択、三件を継続審査、二件を不採択としました。

五十七年度各会計の決算

昭和五十七年度一般会計をはいめ各特別会計は、厳しい財政状況の中で、すべて黒字決算となりました。

一般会計

歳入総額 四二億九一三八万六五九八円

歳出総額 四二億九〇五三万一三三三円

歳入歳出差引額 八五五二二五円

国民健康保険特別会計

歳入総額 七億八五八万九四八三八円

歳出総額 六億八八七二万三三七七〇円

歳入歳出差引額 九七一七万一〇六八八円

老人保健（医療）事業特別会計

歳入総額 四五六三万五〇〇〇円

歳出総額

四五五三万四七六五円

歳入歳出差引額

一〇万〇二三五円

簡易水道事業特別会計

歳入総額 六四五六万六四七八円

歳出総額 六一七三三〇一〇一円

歳入歳出差引額

二八万三三七七円

五十八年度一般会計予算の総額

は三十九億四千七百九十五万二千円

昭和五十八年度一般会計予算の補正額は、九千四百四十五万四千円

で、予算額は三十九億四千七百九十五万二千円となりました。

今回の補正は、国、県補助金の決定に伴う予算、災害復旧などの緊急を要する予算、人事院勧告に基づく職員のペーシングアップなどについて行われました。

歳入歳出予算補正の主な内容は次のとおりです。

（歳入）

▽地方交付税：一億三七八七万三千円増額

▽国庫支出金：二七五九万四千円増額

▽県支出金：一〇四万五千円増額

▽農林水産省補助金：一五九四万九千円増額

▽国土庁補助金：一三三万七千円、第三期山振対策事業補助金一五九四万八千円増額

▽農林水産省補助金：一五九四万八千円増額

▽国土庁補助金：一三三万七千円、第三期山振対策事業補助金一五九四万八千円増額

▽農林水産省補助金：一五九四万八千円増額

▽国土庁補助金：一三三万七千円、第三期山振対策事業補助金一五九四万八千円増額

▽農林水産省補助金：一五九四万八千円増額

▽国土庁補助金：一三三万七千円、第三期山振対策事業補助金一五九四万八千円増額

▽農林水産省補助金：一五九四万八千円増額

（歳出）

▽民生費：七三万一千円増額

▽老人保健特別会計への繰入金七六三万二千円の増額は、老人居室整備貸付金の決定による減額五二〇万円、その他、保育所等の補助基準改正による補正など。

▽衛生費：一三〇万八千円増額

▽農林水産費：四五一万六千円増額

▽土木費：一七〇万三千円減額

▽除雪のための費用二七万一千円、道路新設改良費六万四千三百円増額、区画整理事業の事業決定に伴う二六四〇万円減額など。

と存じですか

一日の活力を
つける朝ごはん

「朝めし抜き」の若い人が増えています。時間がないからとか、太るのがイヤだからとか、理由はさまざまですが、健康上これほど好ましくないことはありません。私たちの体は、もともと規則的な食事をするようにつくられています。朝、昼、夕の食事の間隔は五、六時間がめやすです。そのほうが、エネルギーとたんぱく質の摂取と、消費のバランスがうまくゆくのす。

ですから、朝食時間が遅くなり、

昼食までの時間が短くなっても、よくありません。まして、「朝めし抜き」などはもってのほか。栄養不足になって貧血を起こすのが関の山です。そうならば内臓を疲れさせて、美容のためどころか、老化をうながすだけです。

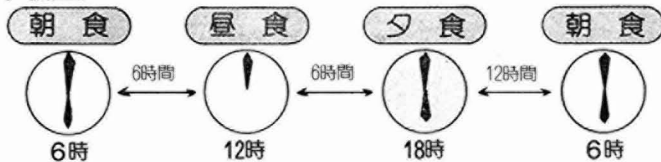
朝食を抜くと、エネルギーが不足しますから、体の方はストックしてあるエネルギーをはきだすことになります。その結果、次の食事でのその分のエネルギーをとりこむことになるので、胃に余計な負担がかかってきます。一回の食事は、次の食事までに消費する栄養所要量を摂取しておくことに意味があるのです。

朝食は一日の原動力ということ、くれぐれもお忘れなく。

五城目町米消費拡大推進協議会

理想的な食事スケジュール《2つのタイプ》

■早朝型



■ふつう型



▽災害復旧費：四四一八万四千円増額！公共土木災害復旧費など。

▼教育長の給与を改定

教育長の給料月額が、二十八万九千四百円から二十九万五千円に改定されました。教育長の給与改定は例年、一般職の職員の給与改定に伴って行われており、今回の改定もこれによるものです。

▼一般職の職員給与を改定

人事院勧告に基づき、国家公務員等の給与改正に準じて、一般職の職員の給与が改定されました。

▼五城目町防災会議条例の一部を改正

市町村防災会議の組織と事務内容は、県の防災会議条例に準じて定めることになっています。今回の改正は、県条例の一部改正されたことによるものです。

▼一般会計補正予算の専決処分を承認

昭和五十八年度一般会計補正予算第三号の専決処分が承認されました。

この補正予算は、衆議院議員選挙を十二月十八日に執行するため

の選挙費用で、県委託金四百二十万二千円の範囲内で賄うものです。

衆議院が十一月二十八日に解散され、選挙日程が差し迫っており、執行に支障のないように万全の体制をとるために、やむを得ず十一月二十九日付で専決処分されました。

▼石井氏を固定資産評価審査委員会の委員に

五城目町固定資産評価審査委員会の委員に石井良治氏（六十歳・富田・農業）を選任することが、

同意されました。

▼陳情五件を採択

今回提出された請願二件、陳情八件うち五件を採択、三件を継続審査、二件を不採択にしました。採択した件名は次のとおり。

- ・官行造林伐採跡地の一部払い下げについての陳情
- ・医療保険をはじめとする社会保険制度の改善に反対する陳情
- ・文学碑建設についての陳情
- ・議員定数についての陳情
- ・優生保護法の改正に反対する陳情

五城目町へようこそ

12月10日
秋田宮林局造林課（6人）
視察：役場庁舎

12月18日
土崎中学校水泳部（14人）
水泳練習：温水プール

12月18日・25日・27日・28日
能代スイミングクラブ（5人）
水泳練習：温水プール

12月21日・25日
大曲工業高校水泳部（11人）

合宿（水泳練習）：町民センター、温水プール
12月21日・23日
能代北高水泳部（19人）
水泳練習：温水プール

12月22日・23日
中央地区高校インドアテニス強化練習（50人）
会場：広域体育館

12月24日・25日
若美町鶴ノ木サッカー少年団
水泳練習：温水プール

住民税

申告相談は二日から

あなたの地域にも伺います

五十九年度住民税申告期限は三月十五日です。町ではこれにあわせて、住民申告相談を二月二日から三月七日まで、町内の十九会場を巡回して行います。

指定期日に都合の悪い方は、同じ地区の他の会場を利用してください。受付時間は、午前九時半から午後三時までとなっています。

申告をしない諸控除ができなくなる場合、税金を多く納めることになる場合があります。また、申告しなければならぬ人、正当な理由なく申告しなかった場合は罰せられることもあります。

住民税申告書は、町政協力員を通じて全世帯に配布します。

申告しなければならぬ人

収入支出を記入した帳簿

・昭和五十八年中に収入のあった人
・給与支払報告書を提出した人でもそれ以外に所得のあった人
・国民健康保険に加入している人（所得の有無にかかわらず相談してください）

申告しなくてもよい人

・昭和五十八年中の所得が給与所得だけで、給与支払報告書が町に提出されている人（勤務先で給与支払報告書を提出したかどうか確かめてください）
・生活保護法により保護を受けている人

申告相談に持参するもの

収入支出を記入した帳簿

収入支出を記入した帳簿

・生命保険料、損害保険料、社会保険の領収書または証明書
・医療費の証明または領収書
・雇用されている人は雇主の給与支払証明書
・申告参考資料に記入したもの
・農業所得のある場合
・五十八年中に農機具を購入した場合は領収書または購入証明書
・大農具の修理費が一機種一年間五万円を超えた場合、超えた部分の金額を領収書（証明書）で確認控除する。

申告会場

血圧健康相談を実施

二月二日から行われる住民税申告相談の会場で、申告においでの方を対象に、血圧健康相談を行います。この機会を利用して、ご自分の健康をお確かめください。

昭和59年度 町 県 民 税 申 告 相 談 日 程

受付時間 午前9時30分～午後3時00分

地区名	月 日 曜	町 内 部 落 名	申 告 会 場
五 城 目	2. 2 木	広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町・小池町 今 町・御蔵町・新 町・東西蔵ノ目町	役 場 相 談 室 (1階町民 談話室隣り)
	3 金	川原町・一番町・古川町・紀久栄町 新畑町	
	6 月	長町・仲町・米沢町・築地町・矢場崎・畑町	
	7 火	昭辰町・雀館・中川原・館町・樋口	
	8 水	上樋口(上、下)・岩城町	
	9 木	上高崎・高 崎・下高崎・新里町	
	10 金	久 保・館 越	
	13 月	岡本2区・野 田	
	14 火	岡本1区・浦横町	
	15 水	大川1区・大川2区・大川4区	
森 山	17 金	大川3区・下樋口・曙 町・石 崎	環 境 改 善 セ ン タ ー
	20 月	西 野	
	21 火	谷地中	
大 川	22 水	下山内・上山内	西 野 公 民 館 谷 地 中 公 民 館 下山内林業集会所 農協富津内支所
	23 木	富 田・黒 土・小 倉	
	24 金	脇 乙・台御蔵下・八 田	
	27 月	北々口 高 千・落 合	
富 津 内	28 火	湯ノ又(1区～4区)・小川口	落 合 公 民 館 農 協 内 川 支 所 内 川 児 童 館
	29 水	浅見内(1区～6区)	
	3. 1 木	帝釈寺・町 村・門 前	
内 川	2 金	蓬内台・小野台	町 村 公 民 館 農協馬場目支所 中村林業集会所 恋地コミュニティセンター
	5 月	水 沢・平ノ下・中 村・寺 庭	
	6 火	恋 地・坊井地・杉 沢	
	7 水	合 地	
馬 場 目			合地林業集会所

カメラレポート



好評な特急バス

五城目・秋田間を50分で

五城目、秋田間を50分で走る特急バス「かもしか号」が、12月1日から運行され、秋田市に出かける人たちの好評を得ています。

この特急バスは、五城目発午前9時と秋田発午後3時の1日1往復で、国道285号線を經由し普通バスよりも25分スピードアップされています。運賃は秋田市内まで650円で、買物回数券も利用できます。また、市内の山王2丁目からは、各停留所で乗降できます。



ロマンスカータイプの特急バス



かわるがわる鐘をつく

80人が参加し除夜の鐘

参加者に暖かいソバ

12月31日の夜、森山山頂に集まった町内のみなさんによって、除夜の鐘がつけられました。

当日は穏やかな夜でしたが、積雪はかなりありました。それでも中学生や高校生、家族連れなど約80人が参加し、かわるがわる鐘をつきました。また、参加者には、登山道入口にある管理棟で暖かいソバがふるまわれました。

お知らせ

大寒 1月21日



献血をお願いします

1月30日・町内5カ所

一月三十日(月)午前九時五十分から、献血車が町内五カ所を巡回して献血を呼びかけますので、ご協力をお願いします。

▽役場前

午前9時50分～10時30分

▽農協前

午前11時10分～11時50分

▽新谷菓子店前

午後1時20分～2時

▽秋田相互銀行駐車場

午後2時10分～2時40分

▽営林署前

午後3時～3時30分

幼稚園児の募集

▽応募資格

・昭和60年4月に小学校1年に入学者
・昭和53年4月2日から54年4月1日までに生まれた者(満5歳児)

・五城目町に住所(居)を有する者

▽願書受付期間

昭和59年1月20日～31日

スポーツ指導者実技研修

(水泳)

▽期日 昭和59年2月1日(水)

▽会場 五城目町屋内温水プール

▽内容 水泳の講習と実技研修

▽参加対象

スポーツ少年団指導者、スポーツクラブ指導者、各種団体リーダー、スポーツ団体関係者、水泳愛好者、その他

▽参加費

プール使用料 200円

▽指導者

第1種指導員 貝森登先生

▽申し込み先

五城目町公民館または屋内温水プール(電話52-4411)

▽申し込み期限

昭和59年1月31日(火)

ママさんスポーツ教室

(バドミントン)

▽期日 1月18日～3月21日

(毎週水曜日)

▽時間

午後1時30分～3時30分

▽申し込み・問い合わせ先

五城目町公民館(加藤)

電話52-4411

※ラケットは公民館で用意します

サラ金を考える

(5) 貸金業規制二法

十一月に施行された貸金業規制二法の主な内容は、次のとおりです。

① 届出制から登録制となる

貸金業は、これまで届出だけで営業できましたが、施行後は登録を受け、三年ごとに更新しなければなりません。

② 業務に關しての規制

① 顧客等の資力などを調査し、返済能力を超えると認められる貸

付けをしてはならない。

② 営業所等ごとに顧客の見やすい場所に貸付条件を掲示しなければならない。

③ 誇大広告をしてはならない。

④ 貸付契約書を交付しなければならない。

⑤ 弁済を受けたときは、その都度直ちに受取書を交付しなければならない。

⑥ 債権の取り立てをするに当たっては、人を威迫し、またはその私生活等の平穩を害するような言動により、その者を困惑させてはならない。相手方の請求があったときは、貸金業者の名称等



教育委員会を訪れた役員のみなさん

本町地区にも若妻会

他町出身の会員がほとんど

本町地区の五城目若妻会は、一時その活動が停止していましたが、昨年から「母と子の集い」や「料理教室」などを開催するなど、活発な運営を行っています。

現在、会員は20人で、そのほとんどが他町からお嫁に来た人たちです。遠くは沖縄県や長崎県の出身者もあり、会長の富樫さんも田代町の出身です。

このほど町の教育委員会にあいさつに訪れた役員のみなさんは、「地域に根差した活動を行うためにも、生まれた時から五城目町に住んでおられる方に、もっと入会して欲しいと思います」と語っていました。

役員は次のとおり。

△会長 富樫悦子 △副会長 伊藤志美子 猿田 妙子
△書記 斉藤由美子 △会計 工藤 初子

【高金利の規制】

および、取り立てを行う者の氏名を明らかにしなければならない。

・昭和58年11月1日から昭和61年10月31日まで
：年73%（日歩20銭）

・昭和61年11月1日から昭和63年10月31日以降の別に法律で定める日まで
：年54・75%（日歩15銭）

・昭和63年10月31日以降の別に法律で定める日の翌日から
：年40・004%（日歩10・96銭）

（完）



お知らせ

二月一日から

県内は翌日配達

郵便局では二月一日から郵便物の輸送方法を改善し、夕刻までに郵便局に差し出された郵便物は、県内はすべて翌日に配達し、手紙はがきなどもより小包についても全国的にスピードアップをはかることにしています。

郵便小包の料金は次のとおり。

小包郵便物料金			
	Sサイズ (2kgまで)	Mサイズ (4kgまで)	Lサイズ (6kgまで)
同市町村内	400円	520円	640円
近 距離	500円	660円	820円
中 距離	650円	810円	970円
遠 距離	800円	960円	1,120円

（詳しくは郵便局へおたずねください）

・2級 機械科、板金科、配管科、塗装科、建築科など30科
▽受講期間
1年で終了でき、修了者は技能検定の学科試験が免除されます。

▽問い合わせ先
秋田天王総合高等職業訓練校
〒010-01
南秋田郡天王町天王字上北野
4-1-43 電話 73-3177

無料で相談に応じます
自動車保険請求相談センター

秋田自動車保険請求相談センターでは、無料で交通事故の相談に応じています。
▽相談時間
午前9時半～午後4時40分・平日（土曜日は正午まで、第2土曜日は休みです）
▽弁護士相談日
毎週木曜午後1時～4時
※電話での相談も受け付けています。電話 32-3279
▽相談センターの場所
秋田市中通り3-2-44
河北ビル 5階

技能士通信講座

職業訓練大学校では、技能士通信講座を開講して、生産現場で働くみなさんが、生産技術の進歩に対応した専門的な知識を系統的に習得できるようにしています。

この通信講座はいつでも申し込みができます。

▽受講料
1級 8000円
2級 6000円

▽科目
・1級 機械科、板金科、配管科、塗装科、建築科

日曜営業給油所（2月）

五城目・八郎湯地区

5日 喜藤商事（八郎湯）
電話 75-2015

12日 森川商店 電話 75-2755

19日 八郎湯農業協同組合 電話 75-3409

26日 高原商店 電話 75-2356

総選挙

投票率は七四・〇五%

衆参同日選挙の前回を下回る

第三十七回衆議院議員総選挙は、十二月十八日に投票が行われ、本町の投票率は七四・〇五%（男七六・一六%、女七二・一八%）で、衆参同日選挙だった前回（昭和五十五年六月）の七八・二二%（男八〇・二七%、女七六・三九%）を下回る投票結果となりました。

投票当日は、朝から雪模様で有権者の出足が鈍り、町内の各投票所は、午前中の投票率が三〇%台というところがほとんどでした。午後からは晴れ間も見られるようになり、だいぶ盛り返しましたが、それでも前回を下回る結果となりました。

選挙当日の町内の有権者は、一、〇一九人（男五、六四二人、女六、三三七人）、実際に投票した人は八、九〇〇人（男四、二九七人、女四、六〇三人）で、三一九人が棄権しました。

町内二十一カ所に設置された投票所の最高投票率は、内川第三投票所（小倉公会堂）の九〇・三六%（男八四・六二%、女九五・四五%）でした。次いで大川第二投票所（西野公民館）の八七・六二%、大川第三投票所（谷地中公民館）の八五・五六%となっていました。

逆に最低は、馬場目第五投票所



雪の降る中、投票所へ向う有権者（杉沢）

町内地区別有権者数と投票状況

	有権者数(人)			投票率(%)		
	男	女	計	男	女	計
五城目	2,546	2,919	5,465	75.29	71.39	73.21
馬場目	781	870	1,651	75.93	70.69	73.17
富津内	773	855	1,628	74.39	69.71	71.93
内川	480	529	1,009	78.13	82.04	80.18
大川	687	779	1,466	82.82	78.05	80.29
森山	375	425	800	71.47	62.59	66.75
計	5,642	6,377	12,019	76.16	72.18	74.05

秋田県一区と町内開票結果

	町内 得票数	町内 得票率(%)	一区 得票数	一区 得票率(%)
	得票数	得票率(%)	得票数	得票率(%)
佐々木義武	1,409	15.98	61,839	15.73
藤村 昭孝	2,050	23.25	56,927	14.48
野呂田芳成	1,899	21.53	81,446	20.71
佐藤 敬治	372	4.22	74,015	18.82
中川利三郎	1,286	14.58	62,187	15.81
佐藤 敬夫	1,803	20.44	56,837	14.45

（合地林業集会所）の五九・二六%（男七二・〇〇%、女四八・二八%）で、次いで富津内第三投票所（富津内中学校理科室）の六六・五九%、森山投票所（森山公民館）の六六・七五%となっています。

今回の選挙は、全県、全国的にも投票率が極めて低く、全県平均が七三・二九%（男七二・四八%、女七四・〇二%）、全国平均が六七・九四%でした。

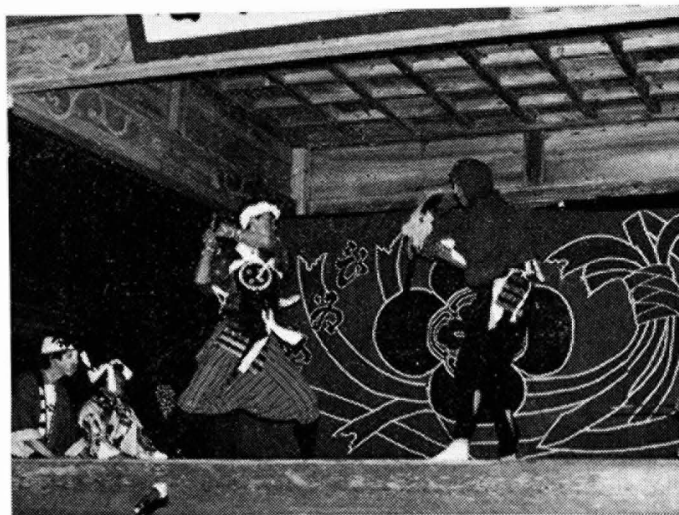
全県平均の七三・二九%は、昭和二十二年の第二十三回総選挙に次ぐ低い投票率です。また、全国平均の六七・九四%は、戦後の衆議院選史上最低の投票率で、前回選挙時よりアップしたのは、和歌山一県だけでした。

本町の開票は、午後七時から役場正庁で行われ、午後九時すぎには結果が発表されました。

本県一区からは、野呂田芳成（自民・新）、佐藤敬治（社会・前）中川利三郎（共産・元）、佐々木義武（自民・前）の四氏がそれぞれ当選しました。

五城目番楽

物産と観光展に出演



名古屋で披露することになった五城目番楽

五城目番楽が、一月二十日から二十五日まで名古屋・名鉄百貨店で開催される「秋田県の物産と観光展」の観光アトラクションで、本県を代表する郷土芸能として紹介されます。

五城目番楽のメンバーは、中村、山内、西野番楽のみなさんからなる九人で、一昨年十一月、タイ国で番楽を披露したみなさんを中心に編成されています。出演は、二十一日の土曜日と二十二日の日曜

日、午前十一時から午後二時から一日二回予定されています。この物産と観光展は、県特産品の展示即売と同時に、観光案内所を設置して県内の優れた観光資源を紹介するほか、郷土芸能についても紹介し、県特産品の販路拡大、観光客の誘致をはかるというものです。観光アトラクションでは、五城目番楽のほか、秋田民謡と湯沢竹太鼓が出演することになっています。



成功させよう

59 全国高校総体

五城目町会場……レスリング

8月1日～4日



根花餅の作り方

⑫ 畠山鶴松

伝統の小倉の根花餅(2)

小倉の根花餅は、秋田方面へ行くとき、唐傘張り、提灯張りなど、主に張り替え商業の者に良く売れたそうだ。しかし当時は交

通の便が悪かったもので、大量に売

生えたわらびの根には、根花が多

いものだと言われている。山から帰る途中、沢の小川で土を落し軽くきれいに洗って家に持ち帰るものであった。

家には、厚さ一寸の板で作られた

三尺四方、深さ五寸くらいの箱

で根を搗く道具があり、これにわ

らびの根を少しづつ入れ、三、四人

で餅搗槌のようなもので調子を合

せ、細かにつぶれるまで搗いた。

搗いた根花は長いところをさそ

って、残りは根ギツチ(深さ二尺、

長さ六尺、底巾一尺)を斜面に置

き、その上側に木造りのコシキと

言うスカシの桁をはめて、その上

にわらびの葉を何枚も敷き、敷い

た上にわらび根をヘラですくい入

れて、その上から何回も水をかけ

通し、根花が底に沈むとそのまま、

十五、六時間おくもので、これを

乾かして粉にしたものを黒花とい

う。

黒花はそのまま粉で売るとか餅

に練て卵形の大きさにし、砂糖、

豆の粉を添えて売るものである。

黒花餅は色が黒いため値段もい

くらか安く売られるのである。食

るときはそのまま豆の粉をつけた

り、沸騰した湯にちよつと入れ、

歳末たすけあい義援金
42世帯と543人に配分
本町の昭和五十八年度歳末たすけあい募金運動に寄せられた義援金の総額は、百四十万七千九百四十七円でした。この義援金は、十二月二十七日、交付対象となった四十二世帯と五百四十三人に配分されました。

(義援金の内訳)
戸別募金(三六五〇世帯) 一三五万四七五四円
特志募金(三件) 三万六四九一元
街頭募金 一万六七〇二元
(配分の内訳)
生活保護受給者(一八四人) 一八万四〇〇〇円

ボーダーライン世帯(三七世帯)	一八万五〇〇〇円
ボーダーライン世帯の人(二二人)	三六万六〇〇〇円
母子世帯の人(五一人)	一五万三〇〇〇円
父子世帯の人(一一人)	三万三〇〇〇円
重度心身身体障害者(二一人)	六万三〇〇〇円
ねたきり老人(六人)	一万八〇〇〇円
一人暮らし老人(二七人)	八万一〇〇〇円
老人夫婦世帯(五世帯)	三万〇〇〇〇円
福祉施設入所者(五五人)	一万〇〇〇〇円
長期療養者(六六人)	一三万二〇〇〇円

3日	藤井 錦一 41 野 田
4日	長谷川 トクノ 80 田 町
6日	石井 シュン 76 今 町
8日	小原 トミ 62 西 野 町
10日	大石 豊治 51 下 山 内
14日	佐々木 茂野 78 岡本一 区
15日	伊藤 祐太郎 73 高 千
16日	石井 徳治 64 長 面
20日	齊藤 和夫 24 田 町
20日	泉谷 時治 74 昭辰 町

岡本一 区	佐々木 仁史 21、1 長男
仁茂 正子	長男
黒土 石井 弥美	12、2 長女
研一 和子	12、10 長男
北北口 伊藤 亮平	12、13 長男
昭辰町 博孝 美代子	12、13 長男
利美 良之	12、13 長男
いと子	二男

おくりやみ申し上げます

12月 3日 北嶋喜一郎 62 大川三 区
3日 越後 ミヨ 76 古川 町

投稿歓迎

みんなの広場

短歌部門

昭和五十八年度全町文学作品

▽入選

「老いたれど」 長沢 文次郎（館町）
老いし身の嬉しきことに孫の声
ただひと言に心安らぐ

朝市のたらいに跳ねる鮎のひれ
活き活きとして老いの胸打つ

草取れば庭の花木伸び伸びと
老いの心も大らかになる

庭の木へちよきんちよきんとひびき
鉄持つ手に老いを忘るる

老いたれど歩む一路はさわやかに
胸を開きて大きく生きん

▽入選

「舟下り」 佐藤 栄子（谷地中）
芸みせるごとくに遊ぶ川からす
児美の流れ下るわれらに

そそり立つ巖に根を張る山藤の
蔓にすがりて鳴く蟬の声

絶壁の岩肌につくかめ蜂の
みことなる巣を舟より見上ぐ

ひたひたと舟端を打つ川波の
水を透かして川魚のみゆ

岩間より流れにそそぐひと流れ
旅に疲れしところに清し

▽佳作

「薫風の城に」 鍋谷 フクエ（長町）
足癒えし夫に誘われひと朝を
裏山の道登るは楽し

山菜採りの目を逃れたる草叢の
細き蕨はわが手に折らる

白壁に積む石垣も途中なる
山頂の城気高く雄々し

防火の効あるとう金の鯨は
薫風の四渡園に眩しく光る

五月晴れわがものとして熊蜂の
唸りは城の巡りを翺べり

▽佳作

「戦後は遠く」 山口 邦三（高崎）
天皇のために生命をささげしに
大義に死しても骨もかえらぬ

敗戦にこの国あげて飢餓に泣き
極みに生きし暗き記憶よ

初年兵のふぐりに居付く菌ありて
ヨウチン痛しと戦友と笑いぬ

衣食住すべて底つきし飢えゆえに
パンパンという女町角にたちし

ヤミ米得て生きんすべく法ぐり
リュック背負いて農家めぐりき

▽作品評

「老いたれど」 （選者）一関 吉美
平凡に見えるが、いきいきとした心おどりがどの歌
にも正直に出ていて、まことに新鮮である。言葉や表
記に多少の難点はあるが、添削を加えて入選としたの
は、作品のさわやかさに脱帽したからである。

「舟下り」

素直な旅行詠。発見した素材を詠んで、旅の驚きと
楽しさを感じさせる。言葉の使い方も無理がなく、
それぞれにキツバリとまとまっついてイヤミがないと
ころがいい。無欲で自然なのはいいが、もう少し欲張
っていたきたい。

町の行事予定

1月20日～28日

20日（金）

・五城目林政新春懇談会（林政）
後3時、赤倉山荘

・五城目幼稚園願書受付（学校
教育）31日

22日（日）

・第15回五城目町PTA研究集
会（学校教育）前9時、町
民センター

23日（月）

・農地等取得資金調査会（農業
委員会）前10時30分、役場
4階大会議室

24日（火）

・新聞記者との懇談会（文書広
報）後3時30分、恋地山荘
・中核農家総合研修会（農政）
前10時、町民センター

・親と子の健康な歯づくり運動
第2回企画委員会（学校教育）
後2時、役場4階会議室

25日（水）

・農業指導センター指導員会議
（農政）前10時30分、役場
4階大会議室

・教育委員会（学校教育）後
2時、役場4階会議室

27日（金）

・簡易郵便局事務取扱者研修会
（庶務）後1時、役場3階
会議室

・健康づくり推進保健事業関係
打合せ（保健衛生）後1時30
分、町民センター

・農業指導センター運営委員会
（農政）後1時30分、役場
4階大会議室

・五城目町の教育作成委員会

（学校教育）後2時、
28日（土）

・杉沢小学校家庭教育学級学習
会（社会教育）後1時30分、
杉沢小学校



善意銀行
預託者

十二月十五日
四千円 昭辰町 匿名
（身障者手当を寄附したもの）

四千円 樋口 匿名
（身障者手当を寄附したもの）

一万円 御蔵町 伊藤 柳
（拾得届けした報労金を寄附
したもの）

十二月十六日
四千円 上山内 朝野 博典
（身障者手当を寄附したもの）

十二月十七日
三万円 御蔵町 渡部昭三郎
（亡父八喜二様の香典返しと
して）

町の人口と世帯

1月1日現在

人口	15,931人	(-6)
(男)	7,629人	(-5)
(女)	8,302人	(-1)
世帯	3,965世帯	(+5)

※（ ）内は前月との比較